

2025年度

関西学院大学大学院人間福祉研究科入学試験【第1次】

【博士課程後期課程】

正規学生（社会人・外国人） 英語

受験についての注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
2. 問題用紙1部（本文6ページ）、解答用紙4枚が配付されます。過不足があれば監督者に申し出てください。
3. 試験中に試験用紙の印刷の不鮮明、ページの欠落、乱れおよび解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、監督者に申し出てください。
4. 監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に受験番号と氏名を正しく記入してください。
5. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHB0.5mm以上の芯のシャープペンシルで記入してください。
6. 解答用紙は丁寧に取り扱ってください。
7. 解答は解答用紙の各問指定の箇所に記入してください。解答用紙の裏面にはいっさい記入してはいけません。下書きなどには問題用紙の余白を利用してください。
8. 解答用紙の枠外および問題番号と異なる番号のところに書かれた解答は、評価（採点）の対象としません。
9. 解答中以外の解答用紙は必ず裏返しに置いてください。
10. 受験中は不審な行動をとってはいけません。不正行為をした場合、当該年度の入学試験のすべてを無効とします。
11. 試験開始後60分間と、試験終了5分前以降は退場できません。ただし、気分が悪いなど身体の調子が悪くなった場合は、監督者に申し出てください。
12. 監督者の開始合図と同時に試験を開始してください。
13. 監督者の終了合図と同時に解答をやめてください。
14. 問題用紙は試験終了後、持ち帰ってください。

I. 以下は、マルクス主義の立場からソーシャルワークと障害者運動の関係を考察した論文
の一部である。これを読み、各間に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

Eiler, E. C., & D'Angelo, K. (2020). Tensions and connections between social work and anti-capitalist disability activism: Disability rights, disability justice, and implications for practice. *Journal of Community Practice*, 28(4), 356-372. より一部を引用。

- 問1 下線 A) は何を意味しているのか、日本語で説明しなさい。(5点)
- 問2 下線 B) の文章を和訳しなさい。(5点)
- 問3 下線 C) で挙げられている2つの批判点をそれぞれ日本語で説明しなさい。(20点)
- 問4 下線 D) で指摘されている批判の意味を日本語で説明しなさい。(10点)
- 問5 下線 E) でいう“binary distinction”とは具体的に何を意味するか、日本語で説明しなさい。(10点)

II. 以下の文章を読み、各間に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

Chonody, J. M., Webb, S.N., Ranzijn,R., and Bryan,J.(2014) Working with Older Adults: Predictors of Attitudes Towards Ageing in Psychology and Social Work Students, Faculty, and Practitioners. *Australian Psychologist*, 49(6), 374-383 より一部を引用。

- 問1 下線 A)の文章を和訳しなさい。(15 点)
- 問2 下線 B)TMT はどのようにテストすると書かれているか日本語で説明しなさい。(15 点)
- 問3 下線 C)は何を意味しているのか、日本語で説明しなさい。(10 点)
- 問4 筆者は contact theory を用いてどのようなことを提案していますか。日本語で説明しなさい。(10 点)

出題の意図

I・II

人間福祉に関する専門的な英語論文2本（障害者運動、老年学）から抜粋された一部を読み、それぞれ正しく内容が理解できているかを問う。それに加えて、各論文著者の主張や意見を正しく理解できているか、またそうした主張や意見に対する志願者自身の解釈について論理的、独創性、かつ説得力のある説明ができるかどうかを問う。

解答（または解答例）

I・II

出題の意図に沿って、受験者が該当箇所を正しく理解できているかどうか、また自分の解釈を、①論理的、②独創性、かつ③説得力をもって展開できているか否かを採点する。